

黒岩祐治

明日を語らふ

2000 1/30 ~ 2/13

三  
条  
女  
性  
誘  
拐  
事  
件

# 目次

[78]三条の女性誘拐事件と回避行動 .....	3
[80]今日のスーパーニュースの解説は科学的？ .....	3
[84]勝手な推論ですが .....	4
[85]三条の女性誘拐事件について .....	5
[86]いやあの三条の事件は .....	6
[87]三条競馬場は悪くない .....	6
[102]不安と恐怖の結末 .....	7
[117]ひきこもりの子供達の不安 .....	8

## [78] 三条の女性誘拐事件と回避行動

投稿者：赤沼侃史

投稿日：2000年1月30日<日>21時41分

三条の女性誘拐事件は、人間で行われた、恐怖からの回避行動の、実証例だと考えられます。

受動的回避行動と言うのが心理学にあります。ある行為意外を行うと罰を受けることによりその行為以外を行わなくなる行動を言います。閉じこめられたところに止まること、またはそれに関係したこと以外を恐怖により禁止され続けると、いくら逃げられる条件が備わっても逃げることができません。逃げることに大きな恐怖を感じるようになります。

いじめを受けている子供がいじめから逃げ出せないのは、能動的回避行動です。いじめから逃げ出したときに加えられてきた恐怖から、逆にいじめから逃げ出すことに恐怖を感じるようになります。

## [80] 今日のスーパーニュースの解説は科学的？

投稿者：赤沼侃史

投稿日：2000年1月31日<月>18時48分

今日も柏崎の男の家から逃げ出せなかった女性の事件が取り上げられました。科学的な理由として、解説がありました。女性が脅迫を受けるのが怖いと思い逃げ出せなかったとありました。それは違っていると思います。条件反射で逃げ出せなかったのです。きっと収容された病院では、条件反射で恐怖に襲われていると思います。もし怖いと思って逃げなかったのなら、犯人は捕まっているのだし、安全な場所にかくまわれているわけですから、恐怖を感じることは無いでしょう。病院での様子を見れば、恐怖の条件反射で逃げられなかったのかどうか分かります。

## [84]勝手な推論ですが

投稿者：赤沼侃史

投稿日：2000年2月1日<火>13時27分

あくまでも私の推論ですが、柏崎の女性監禁事件の母親と息子の関係は、精神的な別居状態だと思います。親の子供放棄の延長上にあると思います。犯人である息子の意識状態は9年前に女性を誘拐した時点と同じだと思われます。アダルトチルドレンと表現する人がいるかもしれませんが、何らかの加わり続けるストレスで、思考の狭さくが、精神的な発達を阻害、大人としての学習を阻害していると思います。

母親も不本意な息子の存在が受け入れられなくて、不本意な息子の存在などが大きなストレスとして加わり続けて、そのストレスから自分を守るために、息子との精神的な交流を放棄していると思います。その結果、息子の存在や他人の存在するサインを、無意識のうちに無視するようになっていたのだと思います。これらは精神疾患によく見られます。

## [85] 三条の女性誘拐事件について

投稿者：フレーゲル男爵

投稿日：2000年2月1日<火>23時01分

不思議に思ったことがあねので書きます。  
誘拐された女性の子供の時のピラの映像が  
モザイクで出ていますが（スーパーニュース以外の他番組）  
それに対して犯人の男の顔もモザイクになってました。

なぜなのでしょう？  
多分、私が考えるにその理由は  
精神鑑定の事があるからだと思います。  
仮に裁判で精神の問題が認められれば  
罪が軽くなるわけですね。  
そして社会復帰してくるわけですが  
それなら、今の犯人の顔をモザイクなしで  
放送してもいいのではないのでしょうか？

理由としては精神の問題があったとしても  
彼の犯した罪はあまりにも重大です。  
精神の問題の前に顔を公開することが  
罪をつくなわせるという意味の第一歩ではないのでしょうか。  
今の状況は、あまりにも被害者側のことを  
考えてない放送だと思うのですが...

事件が事件だけに  
女性の精神ダメージが心配なので  
あまり、女性のモザイクがあるとはいえ  
放送するのはやめたほうがいいと思うのですが...

最後に、フライデーやフォーカスが  
女性の顔写真などを公開しないことを祈りたいです。  
(確証はないですが、売ればいい主義の彼らですから)

乱文、長文すいませんでした。

## [86]いやあの三条の事件は

投稿者：松山真一

投稿日：2000年2月2日<水>02時31分

単純にまだ犯人つかまってませんよね、まだ捜査段階のはずです。

あとマスコミ各社に少女の実名報道をしないようにと呼び掛けておきながら、自分ところのHPに最近まで少女の写真と名前を載せつづけていた新潟県警は、初動捜査の不手際も併せて、もっと叩かれても良いでしょう。

#もういまはないですからね。

いじめの不登校や自殺に関して、体験談も交えたカキコをしばらくしたらすると言っていましたが、インフルエンザにかかっていたため出来ませんでした。

もしよければ、回復もした事ですし、近日中にさせていただきます。

## [87]三条競馬場は悪くない

投稿者：松山真一

投稿日：2000年2月3日<木>06時29分

いや『とくダネ!』で小倉キャスターも熱弁をふるっておられましたが、三条の監禁事件で犯人と思われる人物が競馬好きで、三条競馬によく行っていたというだけで、まるで競馬が悪いかのような報道、三条競馬をも悪くいうかのような報道がされていますね。

小倉キャスターのような見識ある方にもっと声を大きく言ってもらいたいです。

## [102] 不安と恐怖の結末

投稿者：赤沼侃史

投稿日：2000年2月7日<月>08時32分

分裂病や鬱病などの多くの精神疾患、多くの青少年犯罪、新興宗教などの盲信、これらは不安の結末ではないかと、考えています。その過程で心的外傷を受けたと思われる過程がほとんどの例で見られます。その心的外傷が癒される過程が見られていません。脳の構造を考えるなら、不安と恐怖が続くと、人は精神症状を出したり、暴力行為に出たり、何かに逃避することが、あり得ることが分かります。

子供時代の不安と恐怖の原因は、親から加えられる物、社会特に学校から加えられる物があります。子供がその子供なりに成長して行かれない現代では、子供に思わぬ所で不安と恐怖を与えます。その不安と恐怖が癒せない限り、いろいろと社会に不適應を起こす子供が、いろいろな事件を起こす子供が、出てくると思います。

ここで注意しなくてはならないことがあります。親や社会が子供の問題行動を防ぐためにあらかじめ子供に働きかけることが、かえって子供の不安や恐怖を高めることが多いという事実です。それは親や大人が子供の本当の心を知ることが大変に難しいからです。親や大人が子供の心を掴んだつもりでいても、それは親や大人がそう思っているだけで、実際の子供の思っていること（子供の本心は子供の発する言葉とは違うことが多い）とはかけ離れていることが多いからです。

## [117]ひきこもりの子供達の不安

投稿者：赤沼侃史

投稿日：2000年2月13日<日>08時51分

柏崎、京都の事件における犯人の生い立ちが報道されています。現在引きこもりの子供達が、そのニュースを読んで不安になっています。自分たちもあのような犯罪を将来起こす可能性を心配しているのです。

あの犯人達と似た経過の子供達は私の担当している子供達の中にもたくさんいます。しかし、私は確信を持って、子供達に「君たちは絶対にあのようににはならないよ。だって、おかあさんが君たちの心の傷をしっかりと見つめていて、君たちとお母さん達としっかりと心が繋がっているのではないか」と説明しています。子供達は親との心のつながりを感じていますから、それで十分に納得しています。

ニュースでも親の盲信や溺愛を指摘している人がいます。しかし京都や柏崎の事件の親は盲信や溺愛の様に見えますが、本当はそうではありません。子供の暴力に耐えかねて、単に子供の暴力を回避するために子供の要求を受け入れていました。親と子供との間には、こどもからの反発と、親からの苦しさからの意識の上での逃避、無視と、行動の上での事なかれの姿です。私たちがこのような子供の対応をするとき、子供の要求にほぼ全て従うように親に働きかけます。ただし、それは子供の心の傷を意識しながらです。子供が苦しいことを理解して、親は子供の心の傷が癒えるまで、あなたを守り続けるというサインを送るためです。子供のこころを受け取ったといことを具体的に示すためです。親は子供の目を見ています。それに対して柏崎や京都の事件では、親は子供に背中を見せていたのだと思います。

私たちの対応とあの事件と外見は全く似た対応をとります。大きく違うのは、私たちの対応だと子供のこころを見つめ、子供と向かい合っているのに対して、あの事件では親は逃げているところだと思います。